大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社	〒550 大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪 06 (586)3200
南部支社	〒590 堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺 0722(38)1131
北部支社	〒569 高槻市藤の里町39-6	電話 高槻 0726(71)0361
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内 0729(62)1131
兵庫支社	〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸 078(360)3100
京都支社	〒600 京都市下京区中堂寺粟田町1	電話 京都 075(311)7381
奈良支社	〒631 奈良市学園北2-4-1	電話 奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1-5	電話 和歌山 0734(31)2481
兵庫西支社	〒670 姫路市神屋町4-8	電話 姫路 0792(85)2221
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡 0796(23)2221
滋賀支社	〒525 草津市追分町字荒堀680-1	電話 草津 0775(62)5311
滋賀東支社	〒522 彦根市大東町12-11	電話 彦根 0749(22)3131
(長浜営業所)	〒526 長浜市南呉服町3-4	電話 長浜 0749(62)7171
本社・ガスビル サービスセンター	〒541 大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪 06 (202)2221

大阪ガス株式会社

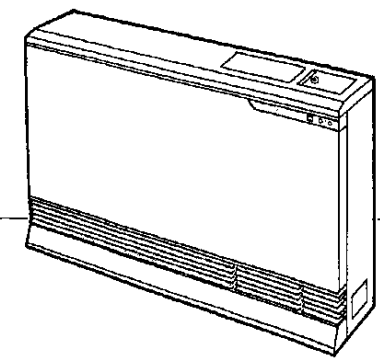
おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

1004F・1004
92.08 (00)

ガスクリーンヒーティング

43-855型

型式名 RHF-1004F-3
RHF-1004F-4



取扱説明書

大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店または大阪ガス支社にお問い合せください。

ごあいさつ

ごのたびは、大阪ガスのガスクリーンヒーティングを
お求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保管してください。

もくじ

- ●機能と特長……1
- ●必ずお守りください……2・3・4・5・6・7
- ●各部のなまえとはたらき……8・9
- ●使用方法
  - ・運転前の準備と確認・運転のしかた……10
  - ・室温調節のしかた・停止のしかた……11
  - ・急速暖房機能……12
  - ・風向き調整のしかた・チャイルドプルーフのしかた……12
  - ・加湿皿への注水のしかた……13
  - ・加湿皿注水ふたロックのしかた……13
- ●使用時のご注意……14・15
- ●故障かな?と思ったら……16・17
- ●点検・お手入れ……18・19
- ●寸法図……20
- ●仕様……21
- ●保管とアフターサービス……22・23

機能と特長

■FFタイプ

屋外より燃焼に必要な空気を取り入れ、排気ガスを屋外へ排出する強制給排気方式(FF式)ですから清潔・安心です。

■ワンプッシュ点火

運転・停止は、運転スイッチを押すだけのワンプッシュ操作です。

(10ページをごらんください。)

■室温調節・室温表示機能付

お部屋の温度を、お好みの室温に設定しておくと調節機能(ガス比例制御式)が、ガス量と風量をコントロールし、快適な室温に保ちます。設定室温と現在室温をランプで表示します。(9ページをごらんください。)
また、室温表示ランプで異常時の故障表示を表示しお知らせします。

(14ページをごらんください。)

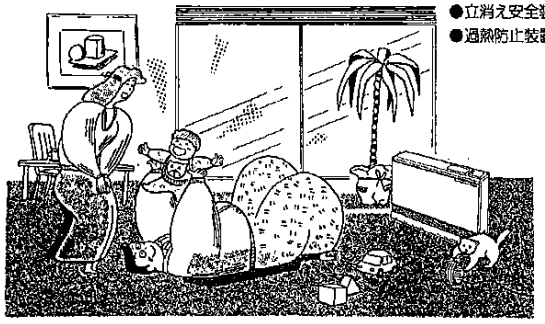
■温風下吹出し

温風は、足もとから吹出します。部屋の空気を循環させながら暖房するのでむらがなく快適です。

■加湿皿付

お部屋の空気を乾燥させないように加湿皿付です。

(13ページをごらんください。)



■急速暖房機能付

立ち上がりの暖房能力を約15%アップして運転します。(最大15分)速暖性がさらに向上しました。

(12ページをごらんください。)

■フィルタサイン付

エアフィルタのほこり詰りをお知らせするフィルタサイン付。サインが点滅したら、フィルタの掃除をしてください。

(19ページをごらんください。)

■チャイルドプルーフ付

小さなお子様がいたずらしても、勝手に運転しないよう、操作ふたをロックすることができます。

(12ページをごらんください。)

■記憶機能付

設定室温は停止後も忘れません。

(11ページをごらんください。)

■大能力

能力80号の大スペース用ですから学校・事務所などに最適です。

■安全装置付

使用中の万一の事故を未然に防ぐ各種安全装置付です。

- ●立消え安全装置
- ●過熱防止装置

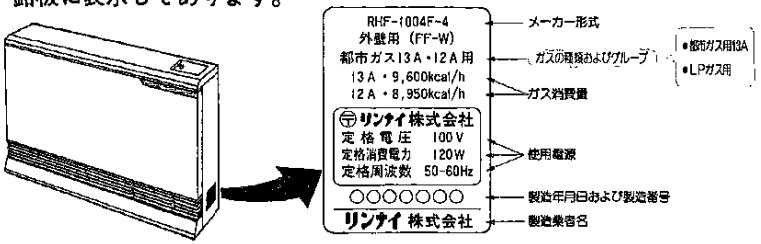
(21ページをごらんください。)

必ずお守りください

ガスクリーンヒーティングをお使いになる前に、次の項は必ずお読みください。

使用ガス・電源について

■ガス種・電源は、器具右側面の銘板に表示してあります。



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
  この器具は交流100V・50／60Hz用です。
  お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。
- 転宅されたときも、ガスの種類、電源電圧の一致を必ず確かめてください。

ご注意

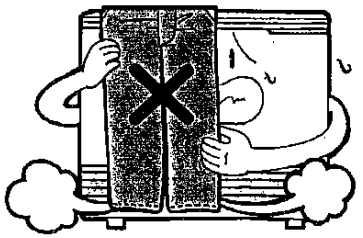
・ガス種・電源が万一違っているときは、お買上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用しますと性能が不十分であったり、危険な場合があります。
・転居されてご使用になる場合、供給されているガスの種類、電源をご確認ください。もし違っている場合は、調整や改造が必要となりますので転居先のガス事業者にご相談ください。
（22ページをごらんください。）

用途について

■衣類の乾燥などに使用しないで！

●暖房以外の用途（洗濯物など衣類の乾燥）に使用しないでください。

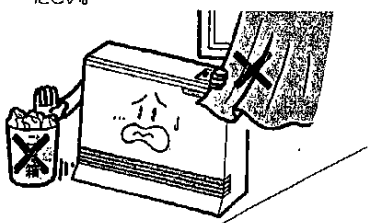
●衣類など器具の上に置いたり、掛けたりすると温風吹出し口や、フィルタ部分がふさがれて、器具内に熱がこもり大変危険です。

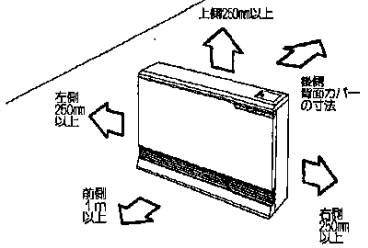


使用場所について

■可燃物を近づけないで!!

家具、壁、カーテンなど燃えやすいものからじゅうぶん離れたところで使用してください。
器具を設置されるときじゅうぶんに確認してください。





可燃物との離隔距離

●器具の前方1m以内に物を置くと、温風がこもって機能がはたらかず、温度コントロールができなくなることがあります。
器具の前方1m以内には物を置かないでください。

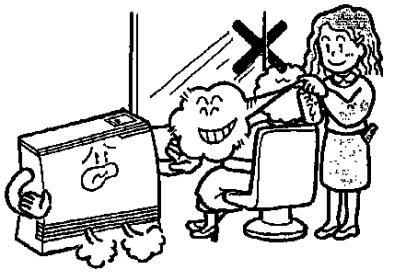
■フローリング（板の間）のお部屋でのご注意!!

フローリング（板の間）で使用される場合は、木質や床材によって、木の乾燥により目地がすく、反りがでる、表面のヒビ割れなどがでる場合がありますので、ご注意ください。

■特別な部屋での使用は避けて!!

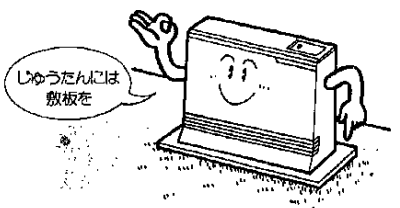
この器具は一般家庭や学校、事務所等の暖房用としてつくられています。美容院、工場など、スプレーや化学薬品を使用したり、綿ぼこりの多い場所では、使用しないでください。

ガスクリーンヒーティングで暖房している部屋では、シリコンを配合した枝毛用コート、ヘアートリートメント化粧品（枝毛用）は、点火ミスや途中消火など故障の原因となりますので使用しないでください。



■じゅうたんには敷板を!!

毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、じょうぶで不燃性の敷板などを敷いてください。長時間使用すると、じゅうたんが変色したりすることがあります。



必ずお守りください

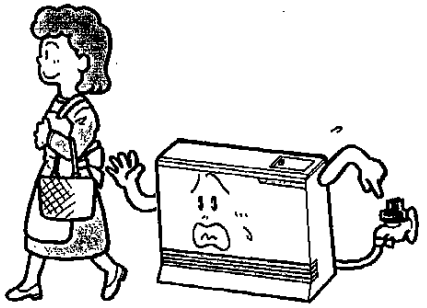
ガス漏れ予防

■ガス接続は専門業者に依頼を!!

お部屋のお掃除等でガス管を外す時はもよりの「大阪ガス」までご相談下さい。

■外出はガス栓を閉めて!!

外出の時など使用されない時は、ガス栓を必ず閉めてください。



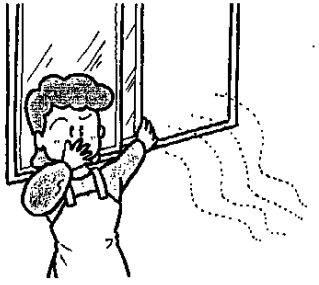
ガス事故防止

■ガス臭いときには!!

換気扇や電気器具のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差し、ライターなどで火をつけたりすることは絶対にしないでください。

火や火花で引火し、爆発の危険があります。

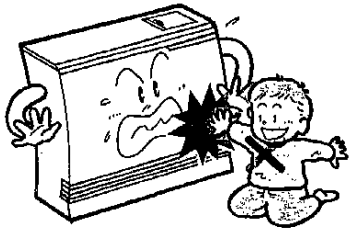
あわてずに、ガス栓を閉じ窓や戸を全部あけてガスを外へ出してから、もよりの「大阪ガス」にご連絡ください。



やけどに注意

■温風吹出し口は熱くなっています!!

温風吹出し口に、手や体を触れるとやけどをすることがありますので、特にお子様が触れることのないように注意してください。



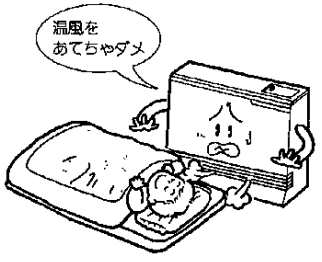
■器具にはのらないで!!

器具にのったり、腰をかけたり、重いものを乗せたりしないでください。

器具が変形したり、やけどや器具の故障の原因になります。

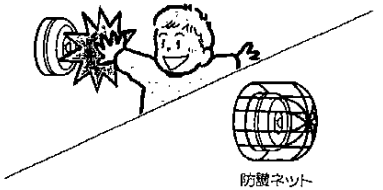
■温風を、直接身体に当てないように!!

温風を長時間、直接身体にあてますとやけどのおそれがあります。特に小さなお子様、お年寄、病気の方には、まわりの方が注意してください。



■バランストップは熱くなっています!!

暖房中のバランストップは熱くなっています。手で触れたり顔を近づけたりしないでください。お子様の手の届く位置へ設置される時は、防護ネット(別売品)をご利用ください。



ご注意

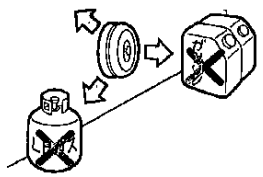
- バランストップからは、排気ガスや水蒸気が出ますので近くに植木や、愛玩動物など、腐食、汚染されては困るものは置かないでください。
- バランストップに袋やあき缶などをかぶせたり、密閉状態になるようなカバーをしたまま使用しないでください。

火災予防

■引火物を近づけないで!!

器具や/バランストップの近くには、危険物(ガソリン、シンナーなどの引火物)を絶対近づけないようにしてください。また、器具の近くでヘアースプレーなどの引火物を使用しないでください。

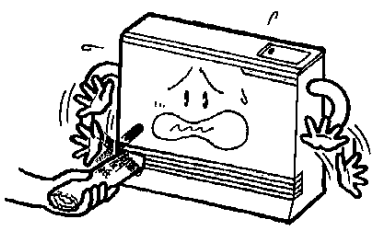
引火するおそれがあります。



■温風吹出し口に物を入れないで!!

紙、布、プラスチックなどを、温風吹出し口に入れないでください。

燃えたり、異常過熱をおこしたりして、たいへん危険です。



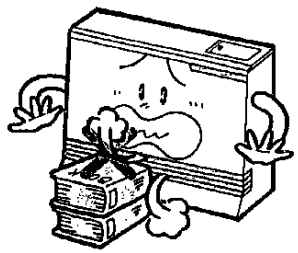
■スプレー缶を器具の前に置かないで!!

スプレー缶(殺虫剤、ヘアースプレーなど)を器具の前方1m以内に置かないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発する恐れがあります。

■温風吹出し口をふさがないで!!

器具の上や周囲には、燃えやすいものを置かないでください。また、温風吹出し口の前に物を置いたりして温風吹出し口をふさがないでください。

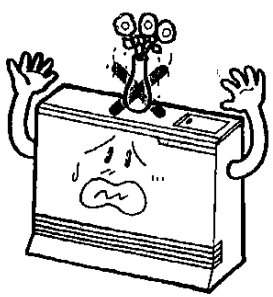
温風吹出し口をふさぐと、異常過熱をしたり、温度コントロールができなくなることがあります。



■器具に水がかからないように!!

器具の上に、花瓶、やかんなどをのせないでください。

器具内部が水でぬれますと、腐食するばかりでなく、漏電、火災の危険があります。

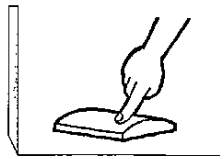


異常時の処置

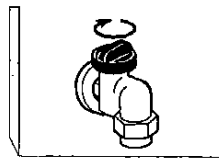
■あわてず、まず消火を!!

万一、異常が起きたとき(器具が異常に熱い、ゴーゴー音がするなど)や、緊急のときでもあわてずに運転スイッチを「切」ガス栓を閉じ、もよりの「大阪ガス」にご連絡ください。

1 運転スイッチを切り



2 ガス栓を閉め

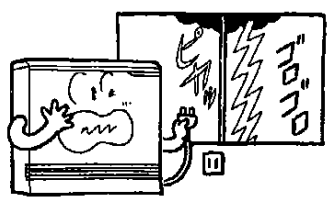


3 もよりの「大阪ガス」へ連絡

雷に注意

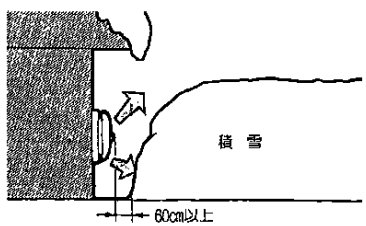
雷が接近したときは、使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

激しい雷のときは、器具を損傷することがあります。



積雪に注意

バランストップは、積雪で覆われたり、つららの落下により破損したりして、排気がじゅうぶんに排出されなくなると器具の故障の原因となります。バランストップの周囲に積雪、つららなどがないようにしてください。



バランストップ、バランス管についてのご注意

・器具本体に必要以上の振動を与えないでください。バランストップ、バランス管のはずれの原因になります。

・バランストップ、バランス管がはずれているのに気がついたら、ご使用をやめて、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

器具の設置について

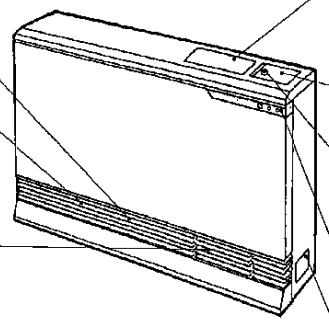
・器具の設置は、お買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

・正しく設置されているか、工事説明書を参照し確認してください。

各部のなまえとはたらき

ガスクリーンヒーティングの各部の名称とはたらきを紹介します。

外　観



ご注意ラベル
使用上での注意事項が表示してあります。
ご使用前にお読みください。

操作部
ふたの中にあります。
（9ページ参照）

チャイルドプルーフ
ふたをロックすることによりいたずらを防止します。
（12ページ参照）

表示部
（9ページ参照）

銘　板
ガス・電源の種類が表示してあります。
（2ページ参照）

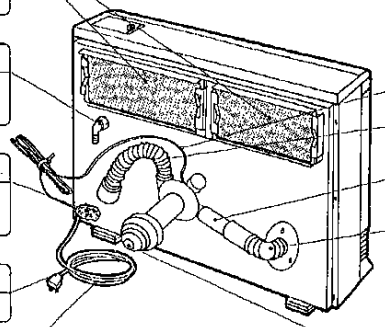
温風吹出し口

加湿皿
内部にお部屋が乾燥するのを防ぐための加湿皿があります。
（13・18ページ参照）

加湿皿注水ふた
加湿皿に注水する時にここを開き注水します。
（13ページ参照）

エアフィルタ
空気中のほこりが器具内へ入るのを防ぎます。
（19ページ参照）

〈背　面〉



ガス接続口
ガス管との接続口です。
（4ページ参照）

感温部
室内温度を感知します。
（11ページ参照）

電源プラグ
（10ページ参照）

電源コード

排気筒外れ検知リード線

給気フレキホース

排気スライド管

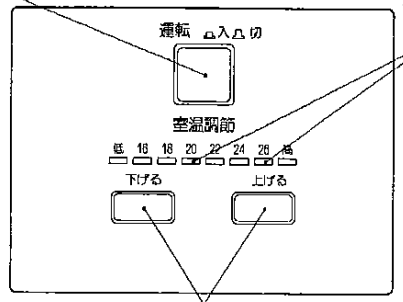
排気エルボ

バランストップ

操作・表示部

〈操作部〉

運転スイッチ
運転・停止するための押ボタンスイッチです。（10・11ページ参照）



室温表示ランプ
現在の室温を点滅して表示します。
（ただし感温部分の温度です。）
設定室温を点灯して表示します。
（11ページ参照）

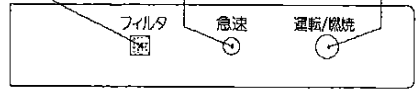
室温調節スイッチ
お好みの室温に調節するためのスイッチです。
（11ページ参照）

〈表示部〉

フィルタサイン
フィルタのほこり詰りをお知らせするランプです。
（19ページ参照）

急速ランプ
急速暖房運転中であることを表わすランプです。
（12ページ参照）

運転・燃焼ランプ
運転中および燃焼中であることを表わすランプです。
（10ページ参照）



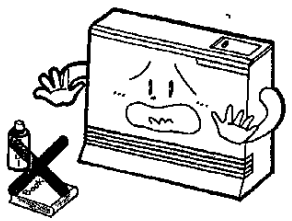
使用方法

運転前の準備と確認
運転のしかた

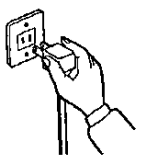
ガスクリーンヒーティングの使いかたです。
お使いになられるときは、2 ～ 7 ページの「必ずお守りください」も
あわせてお読みください。

運転前の準備と確認

1 器具の近くにスプレーや燃えやすいものがないことを確認します。



2 電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。

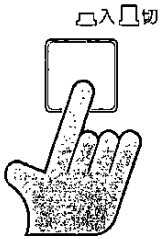


3 お部屋のガス栓を全開にします。

運転のしかた

■運転スイッチを押します。

●運転／燃焼ランプの緑色と室温表示ランプが点灯します。
●燃焼ファンが回転しスパーク音がします。
●点火すると運転／燃焼ランプが緑色から赤色の点灯に変わり、バーナーに点火したことをお知らせします。
●運転／燃焼ランプが赤色に変わってから約20秒後に温風が出ます。

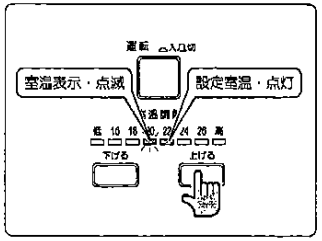


ご注意
・初めてご使用になるときや、しばらく使わなかったときは、運転操作をしても配管内に空気があるため、1 回の操作で点火しないことがあります。
・スパーク音がして、約15秒程たっても点火しないときには、自動的に運転を停止します。そのときには、再度運転操作を行ってください。

室温調節のしかた

■室温調節スイッチを押し、室温を設定します。

●初めて運転されるときは、設定室温が22℃にセットされています。
●表示部を見ながら室温調節スイッチを押し、ご希望の室温にセットしてください。
※設定室温は一度セットすれば、運転スイッチを「切」にしても記憶しています。毎回、セットする必要はありません。

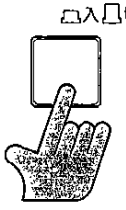


ご注意
・室温調節スイッチでセットした設定室温よりも、現在室温の方が高いときは、点火後、約90秒で、室温コントロールが働き消火します。設定室温を調節して、現在室温より高くしてください。設定室温よりも現在室温が低くなるまで再度点火動作に入りません。
・自動室温調節により、燃焼が停止するときがあります。そのときは、運転／燃焼ランプが赤色→緑色に変わります。
・室温表示は、器具裏面の感温部の温度を表示していますので、お部屋の温度とは若干異なります。室温表示は目やすとしてください。

停止のしかた

■運転スイッチを押し「切」にします。

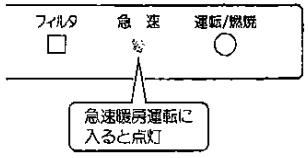
・運転／燃焼ランプが消えます。
・消火後、対流ファンは数分間、回転しつづけてから停止します。（器具内の温度が低くなるまで冷やすためです。）
その間は、電源プラグを抜かないでください。



ご注意
・燃焼中、運転スイッチを「入」のまま、お部屋のガス栓の操作による停止や、電源プラグの引き抜きによる停止は、行わないでください。故障の原因になります。

急速暖房機能

■寒い朝など、お部屋をす速く暖める機能です。



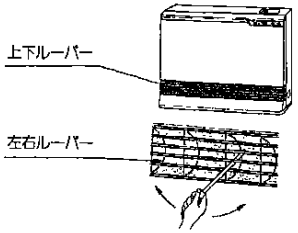
- お部屋の温度が設定室温より約2℃以上低いと、点火した時から15分間に限り自動的に大きな能力で運転し、す速くお部屋を暖めます。
- お部屋の温度が設定室温に近づくと、自動的に急速暖房運転は解除されます。

ご注意 ・お部屋の温度が設定室温(室温調節スイッチでセットされた温度)より高いときや、運転スイッチを入れてから15分以上経過したときは急速暖房運転しません。

風向き調節のしかた

■風向きは左右にかえることができます。

- ドライバーなどの適当な棒で左右ルーバーの向きを調節します。

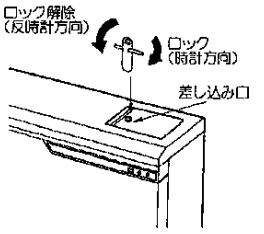


ご注意
- 調節は、何回も行うとルーバーが折れる場合があります。(5～6回程度としてください)
- 上下ルーバーは、固定式ですので調節できません。
- 温風が吹出している時は、熱くなっています。風向調節はやけどをするおそれがありますので行わないでください。

チャイルドプルーフのしかた

小さなお子様のいたずらによる事故を防止するため、操作部のふたは施錠できる様になっています。

- 附属品の専用キーで施錠を行ってください。右(時計方向)へ回せばロックできます。又、左(反時計方向)へ回せばロック解除となります。



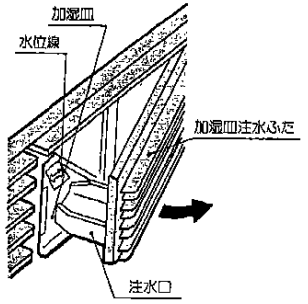
ご注意 専用キーを紛失されますとロックして開かないことになりますので、大切に保管してください。
(附属品として2個入っています。)

加湿皿への注水のしかた

お部屋が乾燥する時は、加湿皿へ注水し加湿してください。

■加湿皿注水ふたを開きます。

- ルーバーをつまんでひきます。



■注水口に注水します。

- やかんなどで静かに水位線まで水を入れます。注水が終わりましたら加湿皿注水ふたをもとにもどします。

※部屋の大きさ、室温などによっては、附属の加湿皿では不足になることがあります。その場合は、市販の加湿器をご使用ください。

※加湿皿には、約3000ccの水が入りますが、使用可能時間は10～15時間と時間に幅がありますので、ときどき水量を確認してください。

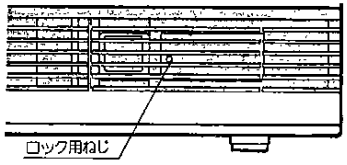
ご注意
- 温風が吹出しているときは、熱くなっています。加湿皿への注水はやけどをするおそれがありますので行わないでください。
- お部屋が結露しやすい状態のときには、注水をさけてください。
- 水位線より上への注水は、しないでください。

加湿皿注水ふたロックのしかた

小さなお子様のいたずらによる事故を防止するため加湿皿注水ふたは施錠できる様になっています。

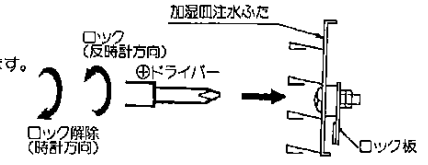
■ロック

- ロック用ねじを⊕ドライバーで左へ回します。



■ロック解除

- ロック用ねじを⊕ドライバーで右へ回します。



使用時のご注意

この器具には、安全装置が作動したときのお知らせ機能がついています。
使用中に、器具が停止したら安全装置が作動していないか調べてください。

安全装置作動時の表示		安全装置	働き
室温表示ランプ	運転/燃焼ランプ		
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 「低」「16」「18」点滅	点滅（赤色）	スパーク安全装置	点火時スパークが正常に飛ばないときに作動し運転を停止させます。
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 「16」点滅	点滅（赤色）	立消安全装置	点火時、バーナに着火しなかったときなどに安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 「低」点滅	点滅（赤色）	立消安全装置	使用中にバーナの炎が消えた場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 「20」点滅	点滅（赤色） フィルタサイン点滅	過熱防止装置（温度スイッチ）	器具内が異常過熱したときに、ガスを止め運転を停止させます。
		過熱防止装置（温度ヒューズ）	器具内が異常過熱したときに、ガスを止め運転を停止させます。
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 消灯	消灯	過電流保護装置（電流ヒューズ）	過電流が流れたときに、ヒューズを切り運転を停止させます。
室温調節 低 16 18 20 22 24 26 高 全点滅	点滅（赤色）	停電安全装置	停電中は使用できません。安全装置が働き、ガス通路を止め運転を停止させます。

原因	処置方法
	修理が必要です。 お買い上げの販売店、またはもよりの「大阪ガス」にご連絡ください。
ガス栓が閉まっていたり、開きたりなかったときなどに作動します。	点検後、再運転してください。
ガス栓が開きたりなかったときや、強い風が吹いたときなどに作動します。	点検後、再運転してください。
エアフィルタがほこり詰まりしていたり、または温風吹出し口に障害物があるときなどに作動します。	エアフィルタ部の掃除や、障害物を取り除いた後しばらく(5~6分)してから再運転してください。 (電源プラグは対流ファンが回っているあいだは抜かないでください。)
異常過熱状態になったときに作動します。	修理が必要です。 お買い上げの販売店、またはもよりの「大阪ガス」にご連絡ください。
電気回路がショートしたときなどに作動します。	修理が必要です。 お買い上げの販売店、またはもよりの「大阪ガス」にご連絡ください。
停電したときに作動します。	通電したら、再運転してください。

故障かな?と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。
修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

次のことを調べてください。

現　　象	点 検 の ポ イ ン ト	参照ページ
運転スイッチを押しても運転しない。（運転／燃焼ランプ：緑色が点灯しない）	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●ご家庭のヒューズやブレーカが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。	10 — —
点火しない（運転／燃焼ランプ：赤色に点灯しない）	●お部屋のガス栓が全開になっていますか。 ●ガス管内に空気が残っていませんか。	10 —
使用中に消火する	●エアフィルタにほこりがたまっていませんか。（フィルタサインは点滅していませんか。） ●温風吹出し口がふさがれていませんか。 ●バランストップがふさがれていませんか。	19 6 5
よく暖まらない	●エアフィルタにほこりがたまっていませんか。 ●設定室温が低くありませんか。 ●部屋の窓や戸が開いていませんか。 ●温風吹出し口が障害物でふさがっていませんか。 ●強化ガスホースがつぶれたり、折れたりしていませんか。 ●お部屋のガス栓は、全開になっていますか。 ●器具前方１m以内に物が置いてありませんか。	19 — — 6 — 10 3
ガス臭い	●ガス管の接続は確実にされていますか。	4

こんなときは故障ではありません。

現　　象	原 因 と 対 策
シーズン始めや、長時間運転しなかった後、なかなか点火しない。（燃焼ランプが点灯）するまで運転操作をくり返します。	点火（燃焼ランプが点灯）するまで運転操作をくり返します。
初めて運転したときや、シーズン始めには、煙やにおいが出る。	器具内部の部品などに付着している油やホコリが焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。
点火したときや、停止した後「コン」「コン」という音がする。	ガス通路を開閉するための電磁弁（電気で開閉するガス弁）が作動するときの音です。
点火したときに、「ポッ」という音がする。	点火音がする場合があります。
部屋が乾燥する。	部屋の湿度が上がると相対湿度が下がるためです。加湿皿に注水してください。なお不足のときは市販の加湿器をご使用ください。
運転してもすぐ温風が出てこない。	冷風を出さないようにしてあります。器具内部が暖まると、自動的（点火後約20秒程して）に温風が出はじめます。
運転中に「シャー」と音がする。	ガスの通過音がする場合があります。
点火後や、停止後に「チリ」「チリ」とキシミ音が出る。	器具内部の部品などが加熱や冷却される際に金属が膨張、収縮して起こる音です。
停止してもすぐに対流ファン（温風）が停止しない。	器具内部を冷やしてから自動的に止まります。
誤って電源プラグを抜いてしまったため、すぐ差し込んで運転操作をしたが点火しない。	内部が冷えるまで数分間待ってから、再度運転操作をしてください。
寒い日、バランストップから白い煙がでる。	排気ガス中の水蒸気が湯気として白く見えるもので異常ではありません。

このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店または、もよりの「大阪ガス」へご連絡ください。

ご注意　不完全な処置は、事故のもとになりますので、絶対にお客さまご自身での分解、修理はしないでください。

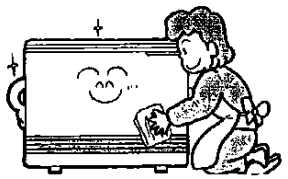
点検・お手入れ

安全にお使いいただけるよう点検とお手入れは定期的に行いましょう。

ご注意
- 器具が冷えているときに、行ってください。
- エアフィルタ・加湿皿以外の部品は絶対に分解しないでください。
- バランストップにカバーなどがしてあったり、近くに可燃物などが置いてないか確認してください。
- ガス管、電源コードが高温部に触れたり破損していないか確認してください。
- バランストップの接続部が外れていないか確認してください。

器体のお手入れ

やわらかい布をぬるま湯でぬらして、よくしぼってから拭いてください。

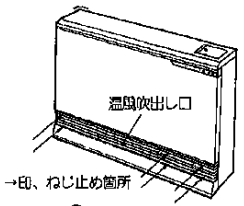


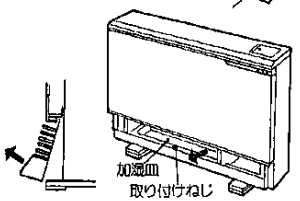
ご注意 ベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対にご使用にならないでください。塗装の色があせたり樹脂の部品が変形したりします。

加湿皿のお手入れ

暖房シーズンが終わったときに行ってください。

- 温風吹出し口の取り付けねじ6本を⊖ドライバーで外します。
- 温風吹出し口を下図の様に下部を手前に引いて外します。
  注水口が引っ掛る場合がありますので注意してください。
- 加湿皿取り付けねじを外して加湿皿を持ち上げながら取り出します。
- 清掃後は逆の手順にしたがい必ず加湿皿を取り付けます。(忘れますと異常過熱の原因になります。)



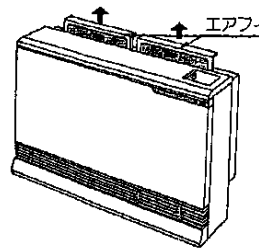


ご注意
- 長期間お使いになると、水にとけ込んでいるいろいろな成分が蒸発した後に白い粉として残り、皿内部に付着します(特に害になることはありません)。
- また、水を入れたまま使用しないでおくと水あかや藻が発生して不衛生です。いずれも加湿皿を取り出して水洗いします。
- 掃除・お手入れは、けがを防ぐためにも必ず手袋をはめて行ってください。

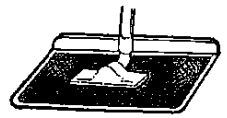
エアフィルタのお手入れ

「フィルタサイン」が点滅したときは必ず掃除をしてください。

■エアフィルタに、ほこりやごみがたまると、「フィルタサイン」が点滅します。このときは必ず運転を止め、器具が冷えてから、すみやかに掃除してください。



■フィルタサインが、点滅していなくても、ほこりがたまっていると思われるときは、お部屋の掃除などのときにいっしょに掃除をされると簡単で気持よくお使いいただけます。
(1カ月に1回程度)



■エアフィルタは、取り外すことができますのでフィルタの表・裏のほこりを電気掃除機や、はたきでよく掃除してください。

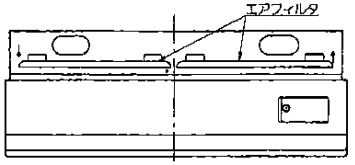
■油などで特に汚れたときは、台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)で手早く洗い、水気をよくはらってから、じゅうぶんに乾燥させてください。

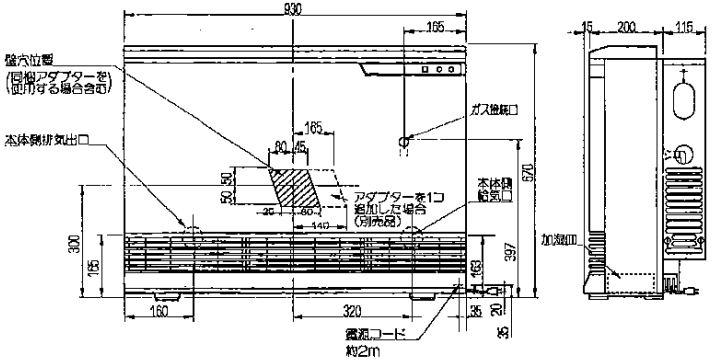
■掃除が終わりましたら、確実に取り付けてください。

ご注意
- フィルタサインが点滅したままご使用を続けますと、センサーが異常と判断し、自動的に運転を停止することがあります。
- 停止すると室温表示ランプの20と「運転/燃焼」ランプが点滅し、安全装置が働いたことをお知らせします。 (14ページ参照)
  このときは、エアフィルタをすみやかに掃除してください。

寸法図

単位：mm





仕　様

品名		43-855
型式名		RHF-1004F-3, -4
種類	燃焼方式	強制燃焼式
	給排気方式	密閉式
	放熱方式	強制対流式
点火方式		連続スパーク点火
暖房のめやす	一般木造	21畳まで
	鉄筋および断熱木造	32畳まで
外形寸法		高さ670mm×幅930mm×奥行315mm(本体200mm)
重量	(本体)	41kg
電気関係	電源	AC100V　50Hz／60Hz
	消費電力	120W
	電源コード長さ	2m
バランストップ バランス管	壁貫通部穴径	80mm
	延長最大長さ	4m3曲り
安全装置		過熱防止装置（温度スイッチ2コ） （温度ヒューズ） 過電流保護装置（電流ヒューズ） 停電時安全装置 排気筒外れ検知装置 立消え安全装置（フレームロッド3本）
ガス接続		13A 13mmホースエンド、LP 9.5mmホースエンド
ガス消費量	13A	9600kcal/h
	LP	0.77kg/h
附属品		標準据付け部品一式 取扱説明書　保証書 設置工事説明書 チャイルドプルーフ専用キー

保管とアフターサービス

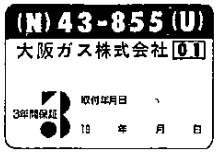
■サービスを依頼されるときは

- 16ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明な場合には、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの「大阪ガス」にご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

(1) 品名……(ガスクリーンヒーティング)

(2) 品番……左側面下部に貼付してあります。

(例)



(3) 現象……(できるだけ詳しく)

(4) お名前、ご住所、電話番号、道順……(できるだけ詳しく)

■保証について

- 必ず「販売店・お買上げ日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、故障修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後7年間となっています。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

■転居される場合

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガス種を確認のうえもよりの大阪ガスまたは転居先のガス会社に相談し調整したうえでご使用ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。また転居先で設置工事をなさる場合は必ず専門の工事店に依頼してください。

■アフターサービス等についてわからないとき

- 販売店またはもよりの「大阪ガス」にお問い合わせください。

■長期間使用しない場合

- 電源プラグはコンセントより抜いて、お部屋のガス栓は確実に閉めてください。
- また、暖房シーズンが終わって、次のシーズンまで長期間保管しておく場合、18ページのお手入れを行って、そのまま設置した状態で保管してください。
- 加湿皿に水を入れておかないでください。

ご注意

- **お客さま自身で移動したり、設置したりしないでください。**
- **器具の下にある、じゅうたん、畳などを交換する場合はお買い上げの販売店または、もよりの「大阪ガス」へご連絡ください。**